

## 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者アンケートについて(報告)

「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」の修了者を対象に、地域における医療的ケア児・者等の受入れ状況などを把握するためのアンケートを実施しましたので、その集計結果を報告します。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査件名

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者アンケート

#### (2) 調査目的

地域における医療的ケア児・者等の受入れ状況と、受入れに関する課題を把握し、研修の効果や今後の支援策の検討に活用することを目的とします。

#### (3) 対象者

349名(平成30年度以降に「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」を修了した方)

#### (4) 調査方法

電子メールにより配布し、横浜市電子申請・届出システムによるweb回答

#### (5) 実施期間

令和7年12月22日(月)～令和8年1月9日(金)

#### (6) 回収結果

回収総数 244件(69.9%)(349名中48名は、転職や退職等により状況の確認ができませんでした)

### 2 調査結果の概要

#### (1) 回答者について

- ・所属する事業所の所在区は、「港北区」9.0%で最も多く、次いで「都筑区」8.6%、「港南区」7.8%、「神奈川区」7.4%、「緑区」7.4%の順であった。
- ・業種別では、「保育所等」が19.7%と最も多く、次いで「特定相談支援(計画相談)・障害児相談支援等」が18.9%、訪問看護ステーションが17.2%であった。
- ・職種別では、「看護師」が40.2%と最も多く、「その他」23.8%、「相談支援専門員等」20.5%であった。

#### (2) 医療的ケア児・者等の受入状況

- <医療的ケア児・者等の受入状況>
- ・「現在受け入れている」が76.2%と大半を占め、「過去に受け入れたが現在は受け入れている」が3.7%であった。これらを合わせると、研修修了者の約8割が医療的ケア児・者等を受け入れている。
- <研修受講をきっかけに医療的ケア児・者等の受入れを始めたか>
- ・「はい」が13.9%、「いいえ」が55.7%、「これから受けようと思っている」が7.8%であった。また、「その他」22.5%の回答では、「研修受講前から既に受け入れている」との意見が多くみられた。
- <研修修了後の業務や意識の変化(複数回答)>
- ・「多職種や関係機関との連携が増えた」が51.6%で最も多く、「医療的ケアの対応方法に関する不安が減った」50.4%、「関係機関や医療的ケア児・者等 Co に相談する機会が増えた」33.6%であった。

<安心して受入れができるために必要な支援(複数回答)>

・「困った時に相談できる支援体制の整備」が63.5%で最も多く、次いで「主治医との連絡・調整のサポート」が43.9%、「医療的ケアの実施に関するサポート」および「医療的ケア児・者等を既に受入れている施設との情報交換・相談機会」がいずれも41.8%であった。

### (3) 医療的ケア児・者等コーディネーターへの相談状況

・コーディネーターに相談したことが「ある」は42.2%、「ない」は57.8%であった。  
・相談していない理由としては、「相談する事例がなかった」が71.6%と最も多かった。

### (4) その他

<エリア別の受入率>

・医療的ケア児・者等の受入率をみると、「現在受け入れている」は港北区が90.9%で最も高く、中区、瀬谷区、西区、青葉区、南区、金沢区、鶴見区でも8割以上が受入れていた。  
一方、「受け入れたことがない」割合をみると、旭区が46.2%と最も高く、次いで保土ヶ谷区33.3%、磯子区33.3%、泉区30.0%であった。

<受入れ率とコーディネーターへの相談率>

・コーディネーターに相談している支援者のうち、92.2%が医療的ケア児・者等を「現在受け入れている」と回答しており、相談していない支援者(64.5%)と比較して27.7ポイント高かった。

## 3 調査結果

### 【問1 回答者について】

※問1-1～問1-3は、回答者氏名、所属事業所名及びメールアドレスを回答する設問のため、記載していません。

#### 問1-4 所属する事業所の所在区

区	件数	構成比 (%)	区	件数	構成比 (%)
鶴見区	15	6.2	金沢区	10	4.1
神奈川区	18	7.4	港北区	22	9.0
西区	13	5.3	緑区	18	7.4
中区	9	3.7	都筑区	21	8.6
南区	12	4.9	青葉区	12	4.9
港南区	19	7.8	戸塚区	13	5.3
保土ヶ谷区	9	3.7	栄区	7	2.9
旭区	13	5.3	泉区	10	4.1
磯子区	9	3.7	瀬谷区	14	5.7
合計				244	100.0

問 1-5 業種

選択肢	件数	構成比 (%)
病院・診療所	20	8.2
訪問看護ステーション	42	17.2
特定相談支援(計画相談)・障害児相談支援等	46	18.9
障害児通所支援(児童発達支援・放課後等デイサービス等)	25	10.2
障害福祉サービス(生活介護・居宅介護・短期入所等)	24	9.8
保育所等	48	19.7
その他	39	16.0
合計	244	100.0

【参考】その他の内訳

累計	件数
在宅医療相談室	12
薬局	10
障害児入所施設	3
その他	14

問 1-6 職種

選択肢	件数	構成比 (%)
看護師	98	40.2
相談支援専門員等	50	20.5
保育士	25	10.2
生活支援員等	13	5.3
その他	58	23.8
合計	244	100.0

【参考】その他の内訳

累計	件数
医療・コメディカル(医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、心理士など)	27
施設長・管理者など(園長・児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者など)	20
その他	11

【参考】業種×職種(件数)

業種 \ 職種	看護師	相談支援 専門員等	保育士	生活支援 員等	その他	合計
病院・診療所	6	2	0	0	12	20
訪問看護ステーション	40	0	0	0	2	42
特定相談支援(計画相談)・ 障害児相談支援等	0	44	0	1	1	46
障害児通所支援(児童発達支 援・放課後等デイサービス等)	8	1	5	0	11	25
障害福祉サービス(生活介護・ 居宅介護・短期入所等)	5	1	0	10	8	24
保育所等	26	0	19	0	3	48
その他	13	2	1	2	21	39
合計	98	50	25	13	58	244

問 1-7 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修の修了年度

選択肢	件数	構成比 (%)
2018(平成 30)年度	18	7.4
2019(平成 31・令和元)年度	23	9.4
2021(令和3)年度	25	10.2
2022(令和4)年度	28	11.5
2023(令和5)年度	48	19.7
2024(令和6)年度	61	25.0
2025(令和7)年度	41	16.8
合計	244	100.0

【問2 医療的ケア児・者等の受入状況について】

問 2-1 事業所での医療的ケア児・者等の現在の受入れ状況

選択肢	件数	構成比 (%)
現在受け入れている	186	76.2
過去に受け入れたが現在は受け入れている	9	3.7
受け入れたことがない	49	20.1
合計	244	100.0

【参考】所属する事業所の所在区×現在の受け入れ状況(構成比)

区	現在受け入れている	過去に受け入れたが 現在は受け入れていない	受け入れたことがない
鶴見区	80.0	6.7	13.3
神奈川区	72.2	0	27.8
西区	84.6	7.7	7.7
中区	88.9	0	11.1
南区	83.3	0	16.7
港南区	73.7	0	26.3
保土ヶ谷区	66.7	0	33.3
旭区	46.2	7.7	46.2
磯子区	66.7	0	33.3
金沢区	80.0	0	20.0
港北区	90.9	0	9.1
緑区	72.2	16.7	11.1
都筑区	76.2	0	23.8
青葉区	83.3	0	16.7
戸塚区	76.9	15.4	7.7
栄区	71.4	0	28.6
泉区	60.0	10.0	30.0
瀬谷区	85.7	0	14.3

問 2-2 医療的ケア児・者等を初めて受入れた年

選択肢	件数	構成比 (%)
2018(平成 30)年度	99	50.8
2019(平成 31・令和元)年度	14	7.2
2020(令和2)年度	8	4.1
2021(令和3)年度	14	7.2
2022(令和4)年度	13	6.7
2023(令和5)年度	20	10.2
2024(令和6)年度	16	8.2
2025(令和7)年度	11	5.6
合計	195	100.0

問 2-3 支援者養成研修を受けたことがきっかけで医療的ケア児・者等の受入れを始めたか

選択肢	件数	構成比 (%)
はい	34	13.9
いいえ	136	55.7
これから受け入れようと思っている	19	7.8
その他	55	22.6
合計	244	100.0

※その他のうち、「研修前から受入れ実施」が42件

問 2-4 事業所で、医療的ケア児・者等を受入れていない理由(最大3つまで)

選択肢	件数	回答者構成比 (%)	延べ構成比 (%)
医療的ケアを行える職員がいない、または人数が足りない	24	49.0	27.9
医療的ケアに必要な設備やスペースがない	14	28.6	16.3
緊急時に対応できる仕組みがない	14	28.6	16.3
医療的ケア児・者等を受入れることに不安がある	8	16.3	9.3
事業所の方針として、医療的ケア児・者等の受入れは行わないことになっている	3	6.1	3.5
その他	23	46.9	26.7

※複数回答。回答者構成比(%)の母数は回答者数(N=49)。延べ構成比は総選択件数 86 件を分母として算出。平均選択数 1.76

※その他の主な回答は、「事業形態上受入対象外」「相談業務のみで受入機能なし」など

問 2-5 支援者養成研修を修了後の、業務や意識の変化(最大3つまで)

選択肢	件数	回答者構成比 (%)	延べ構成比 (%)
医療的ケアの対応方法に関する不安が減った	123	50.4	26.4
関係機関や医療的ケア児・者等コーディネーターに相談する機会が増えた	82	33.6	17.6
多職種や関係機関との連携が増えた	126	51.6	27.0
保護者への説明がしやすくなった	69	28.3	14.8
研修仲間と定期的に情報交換や相談をするようになった	40	16.4	8.6
その他	26	10.7	5.6

※複数回答。回答者構成比(%)の母数は回答者数(N=244)。延べ構成比は総選択件数 466 件を分母として算出。平均選択数 1.91

※その他の主な回答は、「知識・理解が深まった」「実務への活用・意識の変化」「研修が業務に直結しなかった」「変化なし」など

問 2-6 医療的ケア児・者等を受入れる際、安心して受入れができるために必要な支援(最大3つまで)

選択肢	件数	回答者 構成比 (%)	延べ構成比 (%)
受入れに必要なマニュアル作成の支援	81	33.2	12.0
医療的ケアの実施に関するサポート	102	41.8	15.1
施設管理者への説明や理解促進の支援	35	14.3	5.2
医療スタッフ以外の職員向け勉強会の開催	80	32.8	11.8
主治医との連絡・調整のサポート	107	43.9	15.8
困ったときに相談できる支援体制の整備	155	63.5	22.9
医療的ケア児・者等を既に受入れている施設との 情報交換・相談機会	102	41.8	15.1
その他	14	5.7	2.1

※複数回答。回答者構成比(%)の母数は回答者数(N=244)。延べ構成比は総選択件数 676 件を分母として算出。平均選択数 2.77

【問3 医療的ケア児・者等コーディネーターへの相談状況】

問 3-1 医療的ケア児・者等コーディネーターへの相談

選択肢	件数	構成比 (%)
ある	103	42.2
ない	141	57.8
合計	244	100.0

【参考】所属する事業所の所在区×医療的ケア児・者等コーディネーターへの相談(構成比)

区	ある	ない	区	ある	ない
鶴見区	40.0	60.0	金沢区	40.0	60.0
神奈川区	61.1	38.9	港北区	63.6	36.4
西区	46.2	53.8	緑区	27.8	72.2
中区	44.4	55.6	都筑区	52.4	47.6
南区	41.7	58.3	青葉区	58.3	41.7
港南区	42.1	57.9	戸塚区	30.8	69.2
保土ヶ谷区	33.3	66.7	栄区	28.6	71.4
旭区	23.1	76.9	泉区	10.0	90.0
磯子区	44.4	55.6	瀬谷区	35.7	64.3

コーディネーター相談×受入状況(構成比)

	現在受け入れている	過去に受け入れたが現在は受け入っていない	受け入れたことがない
コーディネーター相談			
ある	92.2	3.9	3.9
ない	64.5	3.6	31.9

問 3-2 コーディネーターに相談したケース(自由記述)

カテゴリー	意見数
受入れ・入園/入所の調整	36
福祉サービス/事業所紹介・探索	26
カンファレンス・連携調整	16
訪問看護・医療機関連携	8
教育・就学・学校	6
その他	11
合計	103

問 3-3 コーディネーターに相談していない理由

選択肢	件数	構成比 (%)
コーディネーターに相談できることを知らなかった	8	5.7
どこに連絡すればよいかわからなかった	4	2.8
何を相談したらよいかわからなかった	6	4.3
相談する事例がなかった	101	71.6
面識がないため相談しにくかった	0	0
相談する必要性を感じなかった	10	7.1
その他	12	8.5
合計	141	100.0

【参考】アンケートの設問一覧

No.	設問	回答形式
1	1-1 氏名	自由記述
2	1-2 所属事業所名	自由記述
3	1-3 メールアドレス	自由記述

4	1-4 所属する事業所の所在区	単一回答
5	1-5 業種	単一回答
6	1-6 職種	単一回答
7	1-7 修了年度	単一回答
8	2-1 受入れ状況	単一回答
9	2-2 初めて受入れた年	単一回答
10	2-3 研修がきっかけで受入れを始めたか	単一回答
11	2-4 受入れていない理由	複数回答
12	2-5 研修修了後の変化	複数回答
13	2-6 必要な支援	複数回答
14	3-1 コーディネーターへの相談経験	単一回答
15	3-2 コーディネーターへの相談内容	自由記述
16	3-3 相談していない理由	単一回答